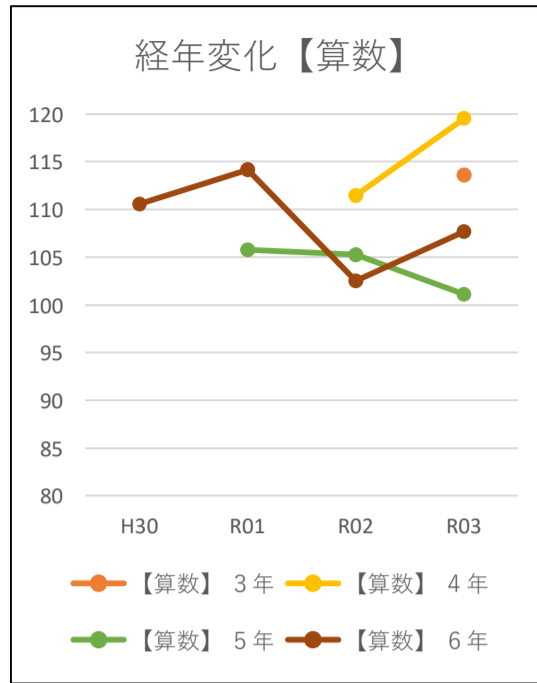
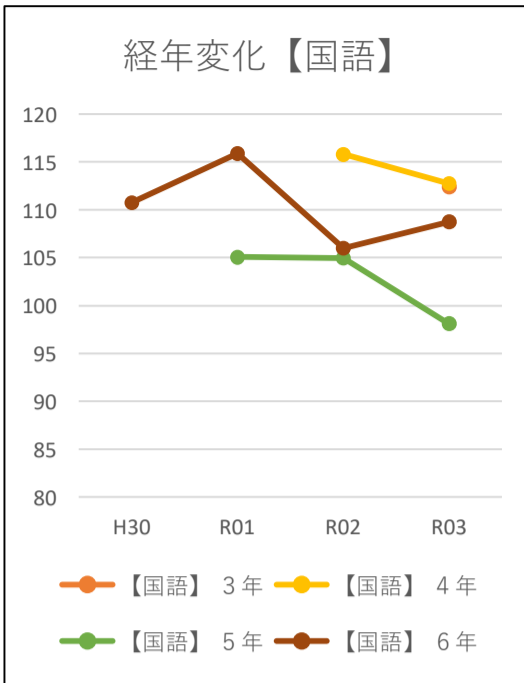


I 令和3年度末までの学力の状況把握(令和3年度 釧路市標準学力検査より)

各学年の経年変化(目標値を100とした時の各学年の状況)



※釧路市標準学力検査結果の経年変化や到達度の割合から見られる各学年の特徴・成果・課題等  
 ○3年生〔現4年生〕は、国語・算数ともに目標値を5ポイント以上上回った。  
 ○4年生〔現5年生〕は、国語は目標値を5ポイント以上、算数は10ポイント以上上回った。経年比較は国語は昨年度をやや下回ったが、算数は昨年度を上回った。  
 ○5年生〔現6年生〕は、国語・算数ともに目標値とほぼ同値となった。経年比較は国語・算数ともに昨年度から下回った。  
 ○6年生〔現中1年生〕は、国語・算数ともに目標値を5ポイント以上上回った。経年比較は国語・算数ともに昨年度を上回った。

II 各学年における成果と課題、令和4年度の実践

(○:成果 △:課題 ◇:継続する取組 □:新規の取組 ◎:改善する取組)

成果と課題について		今後の取組について
4年生	国語 ○領域:「言語事項☆」「情報の扱い方☆」「話す☆」「書く☆」 ○内容:「内容を聞き取る☆」「漢字の読み☆」「言葉の学習☆」「文書を書く☆」	◎漢字の読み書きや言葉の使い方等の言語事項を、より丁寧に扱う。 ◎物語や説明文の学習で、内容や気持ちの変化を的確にとらえられるよう、発問の仕方や考える視点について工夫する。 ◇ドリルを活用して、定着が不十分であった内容の習熟を目指す。 ◇タブレットの効果的な活用を図る。
	算数 ○領域:「数と計算」「図形☆」「測定☆」 ○内容:「10000より大きい数」「たし算・ひき算」「かけ算☆」「わり算」「円と球☆」「長さ・重さ☆」「時刻と時間」	□図や数直線を活用して、的確な立式をできるようにする。 □単位の相互関係の理解を図り、問題に多く触れさせ習熟度を高める。 ◎自分の考えを分かりやすくまとめられるように指導していく。 ◇ドリルを活用して、定着が不十分であった内容の習熟を目指す。 ◇タブレットの効果的な活用を図る。
5年生	国語 ○領域:「言語事項」「情報の扱い方」「言語文化」「話す・聞く」「書く☆」 ○内容:「メモを取りながら話し合う」「文章を書く☆」	◎物語の学習において、登場人物の気持ちについて叙述を基に、具体的に想像できるようにする。 ◎説明文の学習において、文章全体の構成をとらえて学習を進められるよう、更なる授業展開の工夫を図っていく。 ◇ドリルやタブレットの効果的な活用を図る。
	算数 ○領域:「数と計算☆」「図形☆」「変化と関係☆」「データの活用」 ○内容:「億と兆・概数の表し方☆」「わり算☆」「小数☆」「計算のきまり☆」「垂直・平行と四角形☆」「角の大きさ」「簡単な場合についての割合」「折れ線グラフ」	◇図や数直線を活用して、的確な立式をできるようにする。 ◇自分の考えをノートにまとめたり説明したり、仲間と関わったりする場の設定を、今後も行っていく。 ◎小数・分数の計算の仕方を、既習事項と関連付けて理解させていく。 ◇ドリルやタブレットの効果的な活用を図る。
6年生	国語 ○領域:「情報の扱い方☆」「話す・聞く」 △領域:「言語事項」「言語文化」「話す・聞く」「読む」 △内容:「内容を聞き取る」「漢字の読み」「漢字の書き」「言葉の学習」「物語の内容を読み取る」「かべ新聞を書く」	◎漢字の読み書きや言葉の使い方等の言語事項を、より丁寧に扱う。 ◎資料の内容を的確に読み取り、事実や自分の考えを書き表せるように、学習中の意図的な場の設定を行っていく。 ◇ドリルを活用して、定着が不十分であった内容の習熟を目指す。 ◇タブレットの効果的な活用を図る。
	算数 ○内容:「合同☆」 △領域:「変化と関係」 △内容:「分数と小数」「図形の角」「体積」「単位あたりの大きさ、比例」	◇図や数直線を活用して、的確な立式をできるようにする。 ◎小数・分数の四則計算のスキルアップのために、授業中だけでなく、宿題や朝学習の充実を図る。 ◎比例・反比例の単元を丁寧に扱い、理解を深めさせる。 ◇ドリルやタブレットの効果的な活用を図る。

【低学年の指導について】

新1年生	国語 ◇入学から6月までの入門期においては、共栄小学校の「学習の手引き」にある学習規律について学ばせるとともに、安心して学べる雰囲気・環境づくりに努めたい。その後、文字を書く・文章を読む・文章を書くなど、学習の基礎・基本の学びに比重を多くしていくとともに、学習の楽しさを味わわせることで、小学校での学習の基礎作りをしていきたい。	
	算数 ◇絵図を活用したり、具体物の操作をしたりする活動を大切に、数や形・量と測定等の感覚を豊かにさせたい。また、特に加法・減法の計算技能の習得に力を入れていきたい。そのために、単元によっては、少人数学習の形態で行えるようにしたい。	
2年生	国語 ○文字の形に気をつけて、丁寧なノートを書く習慣が身に付いてきている。 ○考えの根拠を持ち、書いたり交流したりできるようになってきた。 △問いに対して本文中から答えを見つけ出すのが難しい。	◎読み書きの練習と音読学習を充実させていく。読み聞かせも合わせて、語彙力向上に努める。 ◎経験や感じたことなど文章で表現する場を増やし、交流につなげていく。
	算数 ○計算は、反復練習に多く取り組み、概ね定着している。 ○文章問題では、状況を想像したり立式したりすることができるようになってきた。 △絵図から場面の状況を捉え、文章問題に書き表すことが難しい。	◇引き続き計算練習に取り組み、数の感覚を確かなものにしていく。 ◎文章題を読んで解いたり、作ったりする機会を増やす。
3年生	国語 ○言葉の意味に気をつけながら、文章を丁寧に書けるようになってきた。 △長文を読み取る力に個人差が大きい。	◇今後も、言葉の意味を大切に、文章作りをさせていく。 ◎文章の量を少しずつ増やしなが、繰り返し問題に取り組ませていく。
	算数 ○絵図を見て、問題の意味をとらえたり立式したりすることが上手になってきた。 △丁寧に作図する意識や力に個人差が大きい。	◇今後も、テープ図や絵を活用し、問題の意味をとらえさせていく。 ◇練習問題に根気強く取り組ませながら、丁寧に作図ができるようにする。

### Ⅲ、学校全体における成果と課題、今後の取り組みについて

#### ① 成果と課題について

(授業づくり・環境づくり・習慣作り) ○:成果 ▲:課題

#### ② 改善の方向性について

(◇:継続する取組, □:新規の取組, ◎:改善する取組 等)

授業づくり	<p>○釧路市の学習規律(スタンダード)をベースにした本校の「学習の手引き」を基に、学習規律や授業作りについて取り組んできた。</p> <p>○校内研修では、国語科を窓口として「主体的に考え、仲間と共に学びを深めていく子どもの育成」に取り組み、成果を上げた。</p> <p>○授業作り(効果的な導入の仕方)について、本校の先生の実践例を紹介し、よさを共有することができた。</p> <p>△学力向上プランを作成し、4月に学年別の取り組みについて職員会議で提案したが、その後、先生方の取り組みに任せきりになった部分が多い。</p> <p>△タブレットは、各学級・学年で工夫して活用していたが、活用法は学級・学年任せになってしまっている。</p>	→	<p>◇引き続き「学習の手引き」の共通理解を図り、系統的な指導を行えるように、担当から呼びかけていく。</p> <p>□今年度の校内研修では、前年度の成果を生かし、研究内容を他教科に広げ、研究内容に基づく授業実践を行っていく。</p> <p>◇校内研修以外でも、先生方の優れた実践を紹介し、よさを共有できるようにしていきたい。</p> <p>□提案後、取り組みの進捗状況を確認する場を設け、各学年の取り組むべき内容を確認したり、素晴らしい取り組みは共有できるようにしていきたい。</p> <p>◎タブレットをはじめICTの効果的な活用で、個別最適な学びと協働的な学びができるよう、活用法を共有できるようにしたい。</p>
環境づくり	<p>○優れたノートを、児童だけでなく保護者にも見てもらえるよう、参観日にあわせて校内ノート展を実施した。</p> <p>○担任が宿題・朝学習・授業等で、いつでも活用できるよう、学習プリントを用意した。</p> <p>○漢字検定や算数検定に意欲的に挑む児童が多かった。検定前にスキルアップできるようなプリントを用意した。</p> <p>○各クラスにICT機器を設置できている。</p>	→	<p>◇今年度も年数回のノート展を開催し、ノート作りの質の向上につなげていきたい。</p> <p>◇授業の進度に合わせた内容のもの、広い分野の習熟に使える内容のもの等、学力向上に役立つものを準備していきたい。</p> <p>◇今年度も、子どもたちの学習意欲を大切にし、「力試しの場」として、本校で漢字検定・算数検定を実施していきたい。</p> <p>◇今年度も各クラスでICT機器を活用できるようにする。</p>
習慣づくり	<p>○図書ボランティアの協力や図書委員会・学級の取り組み等、読書に親しめるような取り組みがなされている。</p> <p>○外部講師や通級の先生方の協力により、希望者が放課後学習に取り組めるようにした。</p> <p>○各学級で選ばれた自主学習ノートをお便りで紹介することができた。</p> <p>△家庭学習の取り組みについて、子どもたちの自己評価は高いが、家庭の評価は高くないというアンケート結果が出ている。また、同じくアンケート結果から、メディアやゲーム等に使う時間が長くなっているという調査結果が出ていて、このことが、家庭学習時間や睡眠時間が削られることにつながっている。</p>	→	<p>◎引き続き、校内の取り組みを続けていく。また、家庭でも読書の時間が確保できるよう、お便りや懇談会等で呼びかけていく。</p> <p>◇今後も、学習の補充や自主学習の習慣づけのために継続していく。</p> <p>◇今年度も、自主学習の紹介を継続して行い、児童が自主学習をする上でのモチベーション向上や、自主学習の方法が分からない児童への手立てとなるようにしたい。</p> <p>◎「家庭学習の手引き」を配付し、各家庭ではこれを参考にして、学年に応じた質・量の家庭学習の見直しをしてもらう。また、メディアやゲーム等に使う時間が長くなりすぎないように、NOゲームデーや元気カードの取り組みを継続するとともに、家庭でも生活・学習のルール作り、生活リズム作りをしてもらえるよう呼びかけていく。</p>